

4 科目等履修生，研究生等

(1) 科目等履修生，研究生，聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性

現状の説明

研究生の受け入れ数は少ないが，留学生の受け入れ手段として，研究生制度を設けている。

点検・評価

長所と問題点

将来の改善・改革に向けた方策

研究生として留学生を受け入れることについては，その選考方法が簡便であることから，在留資格，受け入れ時期等についての問題点がある。大学院では平成9年から年1回の選考で受け入れる体制を実施している。今後は本学が目指す本制度の趣旨を広く広報し，大学院への進学希望者の確保の手段としても効果をあげることが望まれる。

5 外国人留学生の受け入れ

(1) 外国人留学生の受け入れ状況

現状の説明

外国人留学生在籍者の状況は，大学基礎データ「Ⅲ 学生の受け入れ」「6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数」が示すように博士前期課程が2名，博士後期課程が1名である。

6 定員管理

(1) 恒常的に著しい欠員が生じている大学院研究科・専攻における対処方策の適切性

現状の説明

現在の受け入れ状況は，大学基礎データ「Ⅲ 学生の受け入れ」「6 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数」が示すとおりであり，前期課程においては，充足定員を確保している状況である。また，後期課程については充足定員をわずかに下回っている状況である。総合的にみて，適切な教育・研究が実施できる定員が保たれている。

点検・評価

長所と問題点

将来の改善・改革に向けた方策

今後，本学卒業者の進学促進や学外に向けての広報活動の充実が望まれる。